

# Cisco DNA Center プラットフォーム リリース 2.2.3.x リリースノート

初版：2021 年 8 月 4 日

最終更新：2021 年 10 月 4 日

## Cisco DNA Center プラットフォーム 2.2.3.x リリースノート

このドキュメントでは、Cisco DNA Center プラットフォーム 2.2.3.x の機能、制限およびバグについて説明します。

### 変更履歴

次の表に、このドキュメントの最初のリリース以降の変更点を示します。

表 1: マニュアルの変更履歴

日付	変更内容	参照先
2021 年 10 月 4 日	新しいセクションを追加：Cisco DNA Center プラットフォーム 2.2.3.3 の未解決のバグ	<a href="#">Cisco DNA Center プラットフォーム 2.2.3.3 の未解決のバグ (13 ページ)</a>
2021 年 8 月 4 日	初回リリース	—

### 概要

Cisco DNA Center は、そのネイティブ機能の上に構築可能な付加価値アプリケーションを作成するために、シスコのお客様とパートナーが使用できる拡張可能なプラットフォームを提供します。Cisco DNA Center プラットフォームの次の機能を活用し、エンドツーエンドの IT プロセスを最適化し、総所有コスト（TCO）を削減し、新しい価値ネットワークを開発することで、全体的なネットワークエクスペリエンスを高めることができます。

- インテント API
- 統合フロー
- マルチベンダーのサポート
- イベントサービスおよび通知サービス

## Cisco DNA Center プラットフォーム 2.2.3.0 の新機能

Cisco DNA Center プラットフォーム 2.2.3.0 の新機能は次のとおりです。

### 新しい API 機能

#### アプリケーションポリシー API

Cisco DNA Center プラットフォーム では、次の新しいアプリケーションポリシー API がサポートされています。

- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/app-policy-default  
デフォルトのアプリケーションポリシーを取得します。
- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/app-policy  
既存のすべてのアプリケーションポリシーを取得します。
- POST <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/app-policy-intent  
アプリケーションポリシーを作成、更新、または削除します。

Cisco DNA Center プラットフォーム は、次の新しいアプリケーション ポリシー キューイング プロファイル API をサポートしています。

- DELETE <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/app-policy-queuing-profile/{id}  
既存のカスタム アプリケーション ポリシー キューイング プロファイルを ID 別に削除します。
- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/app-policy-queuing-profile  
既存のアプリケーション ポリシー キューイング プロファイルをすべて取得するか、名前別に取得します。
- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/app-policy-queuing-profile-count  
既存のすべてのアプリケーションポリシーキューイングプロファイルの数を取得します。
- POST <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/app-policy-queuing-profile  
新しいカスタム アプリケーション キューイング プロファイルを作成します。
- PUT <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/app-policy-queuing-profile  
既存のカスタム アプリケーション キューイング プロファイルを更新します。

Cisco DNA Center プラットフォーム は、次の新しい **Quality of Service (QoS)** デバイスインターフェイス API をサポートしています。

- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/qos-device-interface-info  
既存の QoS デバイスインターフェイスをすべて取得するか、ネットワークデバイス ID 別に取得します。
- POST <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/qos-device-interface-info

ネットワークデバイス ID に関連付けられた QoS デバイスインターフェイス情報を作成します。これにより、特定のインターフェイスを WAN としてマークし、WAN インターフェイスを特定の SP プロファイルに関連付け、WAN インターフェイスでシェイパーを定義できます。

- PUT <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/qos-device-interface-info

ネットワークデバイス ID に関連付けられている既存の QoS デバイスインターフェイス情報を更新します。

- DELETE <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/qos-device-interface-info/{id}

ネットワークデバイス ID に関連付けられているすべての QoS デバイスインターフェイス情報を削除します。

- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/qos-device-interface-info-count

既存のすべての QoS デバイスインターフェイス情報グループの数を、ネットワークデバイス ID 別に取得します。

Cisco DNA Center プラットフォームでは、エンドポイントのプロファイリングルールを管理するための、次の新しい **AI エンドポイント分析** API がサポートされています。

- PUT <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/endpoint-analytics/profiling-rules/{ruleId}

特定のルール ID のプロファイリングルールを更新します。

- POST <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/endpoint-analytics/profiling-rules/bulk

プロファイリングルールをインポートします。各レコードについて、次のように動作します。

- レコードの **ruleType** が **カスタムルール** ではない場合、レコードは拒否されます。
- 入力レコードに **ruleId** が指定されている場合：
  - 同じ **ruleId** を持つレコードがシステムに存在する場合、新しいデータに置き換えられます。
  - 同じ **ruleId** を持つレコードが存在しない場合は、レコードはデータベースに挿入されます。
- 入力レコードに **ruleId** が指定されていない場合、システムは新しい **ruleId** を生成し、レコードに挿入します。

- DELETE <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/endpoint-analytics/profiling-rules/{ruleId}

特定のルール ID のプロファイリングルールを削除します。

- POST <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/endpoint-analytics/profiling-rules

要求本文からプロファイリングルールを作成します。

- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/endpoint-analytics/profiling-rules/count

クエリパラメータで指定されたフィルタ値に基づいて、プロファイリングルールの数を取得します。フィルタパラメータは、ページネーションパラメータとソートパラメータを除き、GET /profiling-rules API のパラメータと同じです。

- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/endpoint-analytics/profiling-rules/{ruleId}

特定のルール ID のプロファイリングルールの詳細を取得します。

- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/endpoint-analytics/profiling-rules

プロファイリングルールのリストを取得し、クライアントアプリケーションでそれらのルールを表示するか、環境からそれらのルールをエクスポートします。

POST/profiling-rules/bulk API を使用して、このようなエクスポートされたルールを別の環境にインポートできます。この API を使用して別の Cisco DNA Center システムにインポートするルールをエクスポートする場合は、**includeDeleted** パラメータが **true** であることを確認します。これにより、削除されたルールが正しく同期されます。必要に応じて、クエリパラメータを使用してデータをフィルタリングする必要があります。フィルタが指定されていない場合、この API には**カスタムルール**タイプのルールのみが応答に含まれます。デフォルトでは、応答は500レコードに制限されます。必要に応じてより多くのレコードを取得するには、**limit** パラメータを使用する必要があります。GET/profiling-rules/count API を使用して、システム内のルールの総数を調べることができます。



- (注) Cisco DNA Center プラットフォームで AI エンドポイント分析 API を表示するには、**AI Endpoint Analytics** バンドルを有効にする必要があります。

Cisco DNA Center GUI で新しいアプリケーションポリシー API にアクセスするには、メニューアイコン (≡) をクリックし、[Platform] > [Developer Toolkit] > [APIs] を選択します。

[Policy] ドロップダウンリストを展開し、[Application Policy] を選択します。

## アプリケーション API

この Cisco DNA Center プラットフォームリリースでは、次の**アプリケーション API** で新しいオプションがサポートされています。このオプションを使用すると、特定のアプリケーションとサイトやデバイスの組み合わせで、問題、デバイス、およびエンドポイントのリストを取得できます。

- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/application-health

特定のサイト、デバイス、またはクライアントデバイス MAC アドレスのアプリケーションのリストを取得するインテント API。特定のアプリケーションとサイトおよび/またはデバイスの組み合わせで、API は問題、デバイス、エンドポイントのリストを取得します。

Cisco DNA Center GUI で新しいアプリケーション API にアクセスするには、メニューアイコン (≡) をクリックし、[Platform] > [Developer Toolkit] > [APIs] を選択します。

[Policy] ドロップダウンリストを展開し、[Application] を選択します。

## 設定テンプレート API

Cisco DNA Center プラットフォーム では、より多くの入力フィルタパラメータを持つ次の新しい設定テンプレート API がサポートされています。

- GET <cluster-ip> / dna / intent / api / v2 / template-programmer / project  
プロジェクトの詳細を取得します。
- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v2/template-programmer/template  
テンプレートの詳細を取得します。

Cisco DNA Center GUI で新しい設定テンプレート API にアクセスするには、メニューアイコン (≡) をクリックし、[Platform] > [Developer Toolkit] > [APIs] を選択します。

[Site Management] ドロップダウンリストを展開し、[Configuration Templates] を選択します。

## デバイスオンボーディング (PnP) API

PnP ワークフローで Cisco DNA Center プラットフォーム を使用して、プロビジョニングワークフローをバイパスし、API を使用して複数のアクセスポイントデバイスをプロビジョニングできます。

- POST <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/onboarding/pnp-device/claim  
指定されたワークフローを使用している 1 つ以上のデバイスを要求します。

Cisco DNA Center GUI で新しい PnP API にアクセスするには、メニューアイコン (≡) をクリックし、[Platform] > [Developer Toolkit] > [APIs] を選択します。

[Site Management] ドロップダウンリストを展開し、[Device Onboarding (PnP)] を選択します。

## サイト設計 API

Cisco DNA Center プラットフォーム では、次の新しいサイト設計 API がサポートされています。

- POST <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/networkprofile/\${networkProfileId}/site/\${siteId}  
サイトをネットワークプロファイルと関連付けます。
- DELETE <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/networkprofile/\${networkProfileId}/site/\${siteId}  
サイトとネットワークプロファイルの関連付けを解除します。

Cisco DNA Center GUI で新しいサイト設計 API にアクセスするには、メニューアイコン (≡) をクリックし、[Platform] > [Developer Toolkit] > [APIs] を選択します。

[Site Management] ドロップダウンリストを展開し、[Site Design] を選択します。

## タスク API

Cisco DNA Center プラットフォーム は、次の新しいタスク API をサポートしています。

- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/dnacaap/management/execution-status/\${executionId}

ビジネス API の実行の詳細を取得します。

Cisco DNA Center GUI で新しいアプリケーションポリシー API にアクセスするには、メニューアイコン (≡) をクリックし、[Platform] > [Developer Toolkit] > [APIs] を選択します。

[Operational Tasks] ドロップダウンリストを展開し、[Task] を選択します。

## SWIM API

Cisco DNA Center プラットフォーム は、次の新しい **SWIM API** をサポートしています。

- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/image/importation/device-family-identifiers

イメージをゴールデンとしてタグ付けるために使用できるすべてのデバイスファミリのデバイスファミリ ID を取得する API。

- POST <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/image/importation/golden

イメージをゴールデンとしてタグ付けします。グローバルサイトの場合は、siteId を -1 として設定します。

- DELETE

<cluster-ip>/dna/intent/api/v1/image/importation/golden/site\${siteId}/family\${deviceFamilyIdentifier}/role\${deviceRole}/image\${imageId}

ゴールデンタグを削除します。グローバルサイトの場合は、siteId を -1 として設定します

- GET

<cluster-ip>/dna/intent/api/v1/image/importation/golden/site\${siteId}/family\${deviceFamilyIdentifier}/role\${deviceRole}/image\${imageId}

イメージのゴールデンタグステータスを取得します。グローバルサイトの場合は、siteId を -1 として設定します。

Cisco DNA Center GUI で新しい SWIM API にアクセスするには、メニューアイコン (≡) をクリックし、[Platform] > [Developer Toolkit] > [APIs] を選択します。

[Site Management] ドロップダウンリストを展開し、[Software Image Management (SWIM)] を選択します。

## 新しい ITSM 統合機能

### ベーシック ITSM (ServiceNow) CMDB 同期時のネットワーク階層

このリリースでは、ベーシック ITSM (ServiceNow) CMDB 同期バンドルの設定中に、ロケーション参照フィールドが追加属性としてエリアとアドレスをサポートします。

### Webex Teams の統合

このリリースでは、Cisco DNA Center が **WEBEX** サブスクリプションタイプと統合されています。**WEBEX** サブスクリプションタイプに登録するには、[Subscription Type] ドロップダウンリストに **WEBEX** がリストされるように [WebEx Teams ルーム ID および WebEx Teams Bot アクセストークン] が必要です。詳細については、『[Cisco DNA Center ITSM Integration Guide](#)』の「Subscribe Cisco DNA Center Event Notifications to Cisco WebEx」トピックを参照してください。

## 新しい [Reports] GUI 機能

この Cisco DNA Center プラットフォームリリースでは、[Reports] で次の新機能をサポートします。

- レポートの動的ルックアップフィルタについて、Cisco DNA Center プラットフォームのサポートが拡張されました。[Setup Report Scope] ウィンドウで、ドロップダウンリストからフィルタ属性を選択すると、選択したフィルタ属性に応じて、他の対応する依存フィルタ属性が変更されます。



**注** このリリースでは、[Client Trend - Count And Traffic] レポートが動的ルックアップフィルタでサポートされます。

- このリリースの Cisco DNA Center プラットフォームでは、レポートデータを最大 1 年間保持できます。[Schedule Report] ウィンドウで、時間範囲オプションが過去 90 日間から 365 日間に拡張されました。

[Time Range] 領域の [Custom] オプションボタンで、カスタムレポートを生成するための日時間隔を最大 365 日まで選択できます。

Cisco DNA Center は、選択した時間範囲に基づいた詳細なデータを使用してレポートを生成します。

[Schedule Report] ウィンドウでは、Cisco DNA Center は 5 分、1 時間、1 日、1 週間、1 カ月のデータ間隔を使用します。

カスタムレポートは、次のデータ間隔で生成されます。

- 時間単位のレポートは、毎時 5 分に生成されます。
- 日次レポートは、毎日 0 時 5 分に生成されます。
- 週次レポートは、各週の最初の日の 0 時 5 分に生成されます。
- 月次レポートは、毎月 1 日の 0 時 5 分に生成されます。

特定の時間間隔内にデータが生成されない場合、レポートはデータを生成しません。たとえば、[Last 365 Days] オプションを選択して、月次データを使用するとします。

Cisco DNA Center が数日間しか実行されない場合、生成されたレポートにはデータが含まれません。

- Cisco DNA Center プラットフォームでは、より大規模なレポートをサポートするために、フィルタ検証のサポートが拡張されています。レポートを正常に生成するには、フィルタ検証を有効にする必要があります。
  - フィルタの検証が成功すると、[Schedule Report] ウィンドウから次のページにリダイレクトされます。

- フィルタの検証が失敗すると、[Schedule Report] ウィンドウの上部にエラーメッセージが表示されます。
- Cisco DNA Center プラットフォームのサポートが拡張され、[Client Trend] レポートが次のように強化されました。
  - [Client Trend] レポートは、[Client Trend - Count and Traffic] レポートに名前が変更されました。
  - [Select Report Template] プレビューページが更新され、最新の [Client Trend - Count and Traffic] レポートのサンプルが表示されるようになりました。
  - [Setup Report Scope] ページに [Connection Type] フィルタが追加され、[Wired]、[Wireless]、または [All]（有線またはワイヤレス）のクライアントを選択できるようになりました。
  - [Schedule Report] ページの [Time Range] 領域に、過去 30 日間および 365 日間のオプションが追加され、過去 30 日間および 365 日間のレポートを生成できるようになりました。その際、時間範囲に対応したデータ間隔を使用できます。データ間隔は、各時間範囲オプションに追加されています。



**注** Cisco DNA Center プラットフォームでは、90 日から 180 日までの時間範囲を選択する場合に、1 週間のデータ間隔を選択できます。

- [Time Range] 領域の [Custom] オプションボタンで、カスタムレポートを生成するための日時間隔を最大 365 日まで選択できます。
- 週次集計サポートにより、日次メモを集約し、週次メモを生成できます。
- 月次集計サポートにより、日次メモを集約し、各月の 1 日に月次メモを生成できます。

レポート作成の詳細については、[Cisco DNA Center プラットフォームのユーザーガイド](#)を参照してください。

## 新しいレポート

### AP - Usage and Client Breakdown

このリリースでは、新しい [AP-Usage and Client Breakdown] レポートがサポートされています。このレポートは、選択したアクセスポイントの合計使用率と、OS タイプ、SSID、および VLAN 別のクライアントとトラフィックの内訳に関する分析データを提供します。

- サポートされるレポートファイル形式には、PDF、CSV、TDE、JSON などがあります。
- [Select Report Template] プレビューページには、最新の [AP - Usage and Client Breakdown] レポートのサンプルが表示されます。



- [Setup Report Scope] ウィンドウの [AP Name] ドロップダウンリストは、[Location] フィルタで選択した場所に基づいてフィルタリングされます。
- [AP Name] ドロップダウンリストの下に通知が表示され、選択したロケーションの合計アクセスポイントのうち、フィルタリングで選択されたアクセスポイントの数が示されます。

Cisco DNA Center GUI で [AP-Usage and Client Breakdown] レポートにアクセスするには、メニューアイコン (≡) をクリックし、**[Report] > [Reports Templates] > [Access Point]** を選択します。

[Report] ウィンドウで、[AP-Usage and Client Breakdown] を選択します。

AP レポートの詳細については、[Cisco DNA Center プラットフォームのユーザーガイド](#)を参照してください。

## AP パフォーマンスレポート

このリリースでは、新しい [AP Performance] レポートがサポートされています。このレポートでは、ネットワーク内のアクセスポイントの主要なパフォーマンス指標の詳細なリストが提供されます。



(注) Cisco AI Network Analytics アプリケーションが有効になっていることを確認します。詳細については、[Cisco DNA Assurance ユーザーガイド](#)の「Cisco AI Network Analytics データ収集の設定」のトピックを参照してください。

- サポートされるレポートファイル形式には、CSV、TDE、JSON があります。
- 7 日未満の最近のオンボーディングケースに関するデータが存在しない場合、Cisco DNA Center は空の AP パフォーマンスレポートを正常に生成します。最近のデータを表示するには、ヒートマップを使用する必要があります。
- AP パフォーマンスレポートは長い間隔をカバーし、2 時間の粒度で内部的にデータを集約します。開始タイムスタンプと終了タイムスタンプが2時間の時間枠に揃っていない場合でも Cisco DNA Center はレポートを実行しますが、実際のデータは指定された開始タイムスタンプと終了タイムスタンプに対応していない可能性があります。
- AP パフォーマンスレポートには、過去 2 時間のデータは含まれません。
- クラウド接続の問題が発生した場合、AP パフォーマンスレポートが失敗する可能性があります。そのため、レポート要求を再実行する必要があります。
- [Select Report Template] ウィンドウの AP パフォーマンス レポート テンプレートに、ネットワーク内のアクセスポイントからの次の KPI が表示されます。

主要業績評価指標 (KPI)	説明
AP MAC address	アクセスポイントの無線 MAC アドレス

主要業績評価指標 (KPI)	説明
AP Radio Slot	アクセスポイントの無線モジュールのスロット ID。
AP Name	アクセス ポイント名。
Frequency Band	アクセスポイント無線用に設定された無線キャリア帯域。
Average Radio Throughput (bps)	無線ごとの平均スループット (TX+RX)。
Average Cloud Apps Throughput (bps)	無線ごとの平均スループット (TX+RX)。 クラウドアプリケーショングループに限定されます。
Average Cloud Apps Throughput (bps)	無線ごとの平均スループット (TX+RX)。 メディアアプリケーショングループに限定されます。
Radio Reset Count	障害による無線リセットの合計数。
Packet Failure Rate (percentage)	パケットを複数回再送信した後もパケットを配信できない無線リンクの品質低下、または無線障害状態を示します。
Radio Distinct Client Count	無線ごとの個別のクライアントの合計数。
Radio Distinct Client Count	無線ごとの個別のアプリケーションの総数。
Channel Change Count	チャンネル変更を引き起こし、クライアントエクスペリエンスに悪影響を与えた外部干渉の数。
Priority Queue Failures (Packets)	アクセスポイントプライオリティキュー内で送信できなかったパケットの合計数（音声/ビデオ/ベストエフォート）。
Priority Queue Discards (Packets)	アクセスポイントプライオリティキュー内で破棄されたパケットの合計数（音声/ビデオ/ベストエフォート）。
Average Client RSSI (dBm)	無線カバレッジを示します。値が小さいほどカバレッジが低いことを示し、接続の品質と安定性に影響します。
Average Client SNR (dB)	低 SNR は無線リンクの品質を示します。値が小さいほど、接続品質が低いことを示します。

主要業績評価指標 (KPI)	説明
Traffic (percentage)	トラフィックは、無線が自身のクライアントにサービスを提供するためにその無線で消費された通信時間を示し、問題は示されない場合があります。トラフィックレベルが常に非常に高い場合、最適なクライアントエクスペリエンスを提供するために、これらの無線がサービスを提供するエリアに高いキャパシティが必要であることを示している可能性があります。
Co-Channel Interference (percentage)	同一チャネル干渉 (CCI) は、ネイバーまたは外部 AP とクライアントのいずれかによって CCI を報告する無線と同じサービスチャネル上の Wi-Fi トラフィックによって発生します。無線リソース管理 (RRM) を使用している場合でも無線が常に高い同一チャネル干渉を報告する場合は、RF プロファイル設定を確認して、RF 導入に一致させることをお勧めします。
Channel Utilization (percentage)	チャネル使用率には、Wi-Fi トラフィック（ローカルまたはネイバー AP による）と非 Wi-Fi ノイズおよび干渉の両方を考慮した、チャネルが混雑している時間の割合が含まれます。外部要因による高いチャネル使用率は、キャパシティが不足しているために無線に関連付けられているクライアントに最適なパフォーマンスを提供できていない可能性があることを意味します。RRM の使用中に RF プロファイル設定を確認し、スペクトル分析キャプチャを実行して干渉源を特定および排除する必要があります。通常の状態では、チャネル使用率はトラフィックおよび CCI 以上の値です。
Average Data Rate (Mbps)	データレートは、無線、クライアントの能力、およびリンク品質の関数です。

## 新しいプラットフォームバンドルのサポート

### AI エンドポイント分析

このリリースの Cisco DNA Center プラットフォームでは、AI エンドポイント分析アプリケーションによって提供されるさまざまなサービスにアクセスできる AI Endpoint Analytics バンド

ルがサポートされています。このバンドルを使用するには、**AI Endpoint Analytics** パッケージを Cisco DNA Center にインストールする必要があります。

## パフォーマンスと安定性の改善

いくつかのバグを解決し、Cisco DNA Center プラットフォームのパフォーマンスと安定性が向上しました。

## Cisco DNA Center のスケール

Cisco DNA Center のスケールの数値については、[Cisco DNA Center のデータシート](#)を参照してください。

## Cisco DNA Center プラットフォーム をインストールします

Cisco DNA Center 2.2.3.x をインストールする場合は、Cisco DNA Center プラットフォーム 2.2.3.x もインストールします。Cisco DNA Center プラットフォームの個別のインストール手順は不要になりました。Cisco DNA Center のインストール方法については、[Cisco DNA Center 設置ガイド](#)を参照してください。

インストール後、slide-in pane の [Platform] をクリックして Cisco DNA Center プラットフォームにアクセスします。SUPER-ADMIN-ROLE のユーザは、Cisco DNA Center プラットフォームにアクセスできます。SUPER-ADMIN-ROLE のユーザとしてログインすると、Cisco DNA Center プラットフォームの機能を表示し、GUI を使用してアクションを実行できます。

NETWORK-ADMIN-ROLE と OBSERVER-ROLE は、Cisco DNA Center プラットフォームの機能が制限されます。



(注) Cisco DNA Center プラットフォームの以前のバージョンをすでにインストールしている場合は、現在の Cisco DNA Center のリリースバージョンを 2.2.3.x にアップグレードして、最新バージョンにアップグレードすることもできます。Cisco DNA Center プラットフォームの個別のアップグレード手順は不要になりました。

## 統合設定の設定

ファイアウォールなどのルールが、Cisco DNA Center と Cisco DNA Center プラットフォームと通信する必要があるサードパーティ製アプリケーションの間に存在する場合は、[Integration Settings] を設定する必要があります。Cisco DNA Center の IP アドレスが、インターネットや外部ネットワークに接続する別の IP アドレスに内部的にマッピングされる場合には、このような事例が発生します。



**重要** Cisco DNA Center のバックアップおよび復元後、[Integration Settings] ページにアクセスし、次の手順を使用して [Callback URL Host Name] または [IP Address] を必要に応じて更新する必要があります。

### 始める前に

前のセクションの説明に従って Cisco DNA Center プラットフォーム をインストールしておきます。

### 手順

**ステップ 1** Cisco DNA Center GUI で [Menu] アイコン (≡) をクリックして選択します[System]>[Settings]>[System Configuration]>[Integration Settings] の順に選択します。

**ステップ 2** サードパーティ製アプリケーションが Cisco DNA Center プラットフォームと通信するときに接続する必要がある [Callback URL Host Name] または [IP Address] を入力します。

(注) [Callback URL Host Name] または [IP Address] は、Cisco DNA Center に内部的にマッピングされている外部向けホスト名または IP アドレスです。3 ノードクラスタセットアップの VIP アドレスを設定します。

**ステップ 3** [Apply] ボタンをクリックします。

## Cisco DNA Center プラットフォームのアップグレード

Cisco DNA Center 2.2.3.x にアップグレードすると、以前のリリースから Cisco DNA Center プラットフォーム 2.2.3.x にアップグレードできます。Cisco DNA Center プラットフォームの個別のアップグレード手順は不要になりました。Cisco DNA Center のアップグレードについては、[Cisco DNA Center アップグレードガイド](#)を参照してください。



(注) SUPER-ADMIN-ROLE のユーザは、Cisco DNA Center プラットフォームにアクセスできます。SUPER-ADMIN-ROLE のユーザとしてログインすると、Cisco DNA Center プラットフォームの機能を表示し、GUI を使用してアクションを実行できます。NETWORK-ADMIN-ROLE と OBSERVER-ROLE は、Cisco DNA Center プラットフォームの機能が制限されます。

## バグ

### Cisco DNA Center プラットフォーム 2.2.3.3 の未解決のバグ

次の表に、Cisco DNA Center プラットフォーム 2.2.3.3 の未解決のバグを示します。

表 2: Cisco DNA Center プラットフォーム 2.2.3.0 の未解決のバグ

バグ ID	見出し
<a href="#">CSCvy24763</a>	<p>Cisco DNA Center でレポートを正常に開始した後に、レポートに次のエラーが表示される場合があります。</p> <p>Sorry, data collection failed - this report failed because the operation timed out or the server not responding. Please try again later or create a new report.</p> <p><b>回避策：</b>現時点では回避策はありません。</p>

## Cisco DNA Center プラットフォーム 2.2.3.0 の未解決のバグ

次の表に、Cisco DNA Center プラットフォーム 2.2.3.0 の未解決のバグを示します。

表 3: Cisco DNA Center プラットフォーム 2.2.3.0 の未解決のバグ

バグ ID	見出し
<a href="#">CSCvy24763</a>	<p>Cisco DNA Center でレポートを正常に開始した後に、レポートに次のエラーが表示される場合があります。</p> <p>Sorry, data collection failed - this report failed because the operation timed out or the server not responding. Please try again later or create a new report.</p> <p><b>回避策：</b>現時点では回避策はありません。</p>
<a href="#">CSCvy32991</a>	<p>Cisco DNA Center レポートが、生成後 1 ～ 2 日で期限切れになる。</p> <p>Cisco DNA Center では、期限切れのレポートはダウンロードできません。有効期限が切れる前にダウンロードした場合、レポートに含まれるユーザー情報は少なくなります。</p> <p><b>回避策：</b>現時点では回避策はありません。</p>
<a href="#">CSCvy63160</a>	<p>ITSM バンドルのネットワーク問題モニタを無効にすると、Cisco DNA Center プラットフォーム でイベント通知が生成されない。</p> <p><b>回避策：</b>現時点では回避策はありません。</p>

## Cisco DNA Center プラットフォーム 2.2.3.0 の解決済みのバグ

次の表に、Cisco DNA Center プラットフォーム 2.2.3.0 で解決されたバグを示します。

表 4: Cisco DNA Center プラットフォーム 2.2.3.0 の解決済みのバグ

バグ ID	見出し
<a href="#">CSCvy25460</a>	<p>ウェブフックの作成中に、Cisco DNA Center でウェブフック名にスペースを入れることができない。</p>

## 制限事項

以降のセクションでは、このリリースの制限事項および制約事項について説明します。

### IP Address Manager の統合

次に、Cisco DNA Center と IP Address Manager の統合に関する制限事項と回避策を示します。

- Infoblox
  - Infoblox には名前属性が表示されません。したがって、Infoblox のコメントフィールドには、同期中に IP プール名が入力されます。
  - プールのインポートでは、コメントフィールドの最初の 50 文字が使用されます。コメントにスペースがある場合は、アンダースコアに置き換えられます。
  - インポートされたプールの IP プール名が更新されると、コメントが上書きされ、新しい名前が反映されます。
- BlueCat : 現時点では BlueCat の統合に伴う制限はありません。

### レポート

重要なデータを含むレポートが Cisco DNA Center プラットフォーム で生成できないことがあります。このような場合は、フィルタを使用してレポートサイズを縮小し、このような障害を防ぐことを推奨します。

## 通信、サービス、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、[Cisco Profile Manager](#) でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、[シスコサービス](#)にアクセスしてください。
- サービス リクエストを送信するには、[シスコ サポート](#)にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、[Cisco DevNet](#)にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、[Cisco Press](#)にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、[Cisco Warranty Finder](#)にアクセスしてください。

### Cisco バグ検索ツール

[シスコバグ検索ツール](#) (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

## マニュアルに関するフィードバック

シスコのテクニカルドキュメントに関するフィードバックを提供するには、それぞれのオンラインドキュメントの右側のペインにあるフィードバックフォームを使用してください。

## Cisco DNA Center プラットフォームのリソースおよびドキュメンテーション

次の表に、Cisco DNA Center プラットフォームの運用を開始するときに使用できるリソースとドキュメントを示します。

表 5: Cisco DNA Center プラットフォームのリソースおよびドキュメンテーション

リソース	リンク
<p><i>Cisco DNA Center</i> プラットフォーム ユーザガイド</p> <p>Cisco DNA Center プラットフォーム GUI を使用する場合は、このガイドを参照してください。</p>	<a href="#">Cisco DNA Center プラットフォーム ユーザガイド</a>
<p><i>Cisco DNA Center ITSM</i> 統合ガイド</p> <p>このガイドは、Cisco DNA Center プラットフォーム と ServiceNow の運用を開始する場合に使用します。</p>	<a href="#">Cisco DNA Center ITSM 統合ガイド</a>
<p><i>Cisco DNA Center</i> プラットフォームの概要</p> <p>このリソースを使用して、インテント API、マルチベンダーサポート、および統合 API に関する概要情報を参照します。</p>	<a href="#">Cisco DNA Center プラットフォームの概要</a>
<p><i>Cisco DNA Center</i> プラットフォームインテント API スタートアップガイド</p> <p>インテント API と Cisco DNA Center プラットフォーム の運用を開始する場合は、このリソースを使用します。</p>	<a href="#">Cisco DNA Center プラットフォームインテント API スタートアップガイド</a>
<p><i>Cisco DNA Center</i> マルチベンダー SDK スタートアップガイド</p> <p>SDK と Cisco DNA Center プラットフォーム の運用を開始する場合は、このリソースを使用します。</p>	<a href="#">Cisco DNA Center マルチベンダー SDK スタートアップガイド</a>
<p><i>Cisco DNA Center</i> マルチベンダー SDK リリースノート</p> <p>SDK に関するリリース情報。</p>	<a href="#">Cisco DNA Center マルチベンダー SDK リリースノート</a>
<p><i>Cisco Code Exchange</i></p> <p>シスコのテクノロジーに関連するコードリポジトリ。</p>	<a href="#">Cisco Code Exchange</a>

## 関連資料

Cisco DNA Center の参照ドキュメントとして以下をお勧めします。





- (注) この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナルリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザインターフェイスにハードコードされている言語、基準ドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。

情報のタイプについては、	このドキュメントを参照してください...
リリース情報（新機能、制限事項、未解決および解決済みのバグなど）。	<a href="#">Cisco DNA Center リリースノート</a>
Cisco DNA Center のインストールと設定（設置作業を含む）について。	<a href="#">Cisco DNA Center 設置ガイド</a>
Cisco DNA Center の最新リリースに関するアップグレード情報。	<a href="#">Cisco DNA Center アップグレードガイド</a>
Cisco DNA Center GUI とアプリケーションの使用について。	<a href="#">Cisco DNA Center ユーザガイド</a>
ユーザアカウント、セキュリティ証明書、認証およびパスワードポリシー、バックアップと復元の設定について。	<a href="#">Cisco DNA Center 管理者ガイド</a>
セキュリティの機能、強化、ベストプラクティスを通じて安全に展開する方法について。	<a href="#">Cisco DNA Center セキュリティのベストプラクティスガイド</a>
サポートされているデバイスについて（ルータ、スイッチ、ワイヤレスアクセスポイント、NFVIS プラットフォーム、ソフトウェアリリースなど）。	<a href="#">サポートされるデバイス</a>
Cisco SD-Access 向けハードウェアおよびソフトウェアのサポートについて。	<a href="#">Cisco SD-Access ハードウェアおよびソフトウェア互換性マトリックス</a>
Cisco DNA アシュアランス GUI の使用について。	<a href="#">Cisco DNA Assurance ユーザガイド</a>
Cisco DNA Center プラットフォーム GUI とアプリケーションの使用について。	<a href="#">Cisco DNA Center プラットフォーム ユーザガイド</a>
Cisco DNA Center プラットフォーム リリース情報（新機能、展開、バグなど）。	<a href="#">Cisco DNA Center プラットフォーム リリースノート</a>
Cisco Wide Area Bonjour アプリケーション GUI の使用について。	<a href="#">Cisco Wide Area Bonjour アプリケーション ユーザガイド</a>
Cisco DNA Center での Stealthwatch Security Analytics Service の使用について。	<a href="#">Cisco Stealthwatch Analytics Service ユーザガイド</a>

情報のタイプについては、	このドキュメントを参照してください...
Cisco DNA Center GUI の Cisco DNA アシュアランス 内のダッシュボードとして不正管理機能を利用する方法について。	<a href="#">Cisco DNA Center の不正管理アプリケーション クイック スタート ガイド</a>

---

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2021 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.